

平成18年第2回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目
1人目	14番	桑原 壽	<p>1 「親教育プログラム」の活用について</p> <p>(1) 「次世代育成支援行動計画」の中に、「親を育てる」との視点を入れるべきと考えるが</p> <p>(2) 親になる自信と、子育てに喜びを感じられるように、まずは、「親教育プログラム」についての講演会をおこなってはどうか</p> <p>2 マタニティマークをとおした「妊産婦にやさしい環境づくり推進」について</p> <p>(1) 妊産婦にやさしい環境づくり推進のために、「マタニティマーク」の積極的な活用を</p> <p>(2) 妊婦バッジを作成し、普及を図ってはどうか</p> <p>3 食育月間の取組みについて</p> <p>(1) 毎年6月が「食育月間」。今年のテーマは、『みんなで 毎日 朝ごはん』、更に、毎月19日は、「食育の日」とするとの報道があった。 当市としての対応は</p> <p>(2) 朝食を欠食する国民の割合、子ども4%から0%、20歳男性30%から15%以下、その他となっている。当市の状況と、具体的な目標への取組みについて</p> <p>(3) 市の現状と、「食事バランスガイド」普及啓発への今後の取組みについて</p> <p>(4) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）、市の現状と、改善への取組みについて</p> <p>(5) 推進計画の作成と実施の有無は</p>
2人目	16番	秋山 猛	<p>1 少子化対策について</p> <p>(1) 仕事と子育ての両立という視点から、保育サービスの充実が必要と考えるが、今年4月1日現在の認可保育園の待機児童数は何名か。また、今後の見通しと対応は</p> <p>(2) 子育て家庭の経済的負担の軽減という視点から伺う。 市では、今年4月から、東京都の乳幼児医療費助成事業の所得制限を超える方に対して、市単独で助成事業を開始したが、その対象世帯及び人数は。また、本年4月1日に児童手当の法改正が行われ、対象が小学6年生まで拡大されることになったが、対象者はどれ位増加する見通しか。また、国、都、市の負担割合はどうなるのか。 市の財政負担はどの程度か</p> <p>(3) 子育て家庭に対する相談の充実と子育て情報の提供を図ることが必要と考えるが、市ではどのような対策を実施しているか。 また、平成18年度改定予定の子育て応援ガイドブックの配布先、部数、活用方法について伺う</p> <p>(4) 子育て家庭に対する地域での支援という点で、どのような対策を行っているのか伺う</p> <p>(5) 市では子育て支援の施策を総合的に進めるために、「羽村市次世代育成支援行動計画」を策定しているが、その進捗状況はどうか</p>

3 人目

5 番

水 野 義 裕

## 2 児童・生徒の安全対策について

- (1) 通学路の安全確保について市の整備状況は。  
歩道の幅、信号機の設置有無、横断歩道の設置、人的配置についてはどうか
- (2) 通学路の安全マップ作成が効果的と聞くが、取り組みはどうか
- (3) 他地域では、通学路などで事件が多発しているが、当市では、問題行動や不審者などの情報は寄せられているか。また、犯罪から児童を守るために、どのような情報対策をとっているか伺う
- (4) 児童・生徒の安全確保に退職警察官等の活用をはかっているところが他に見られるが、当市の考えは
- (5) 学校周辺の巡回や登下校時の見守り活動が必要と考えるが、定年退職者、P T A、青少年対策地区委員会、町内会、防犯活動推進委員、青少年育成委員、退職教員などによる組織づくりの考えがあるか伺う

4 人目

8 番

船 木 良 教

## 1 行財政改革推進プランについて

- (1) 進捗状況の市民への報告はどの様に行うか
- (2) 改革の実行に当たって、外部の目を導入する考えはあるか
- (3) 人事評価制度改革について  
①本年度は制度の検討が計画されているが、具体的な日程はどうなっているか
- (4) 多様な任用・勤務形態について  
①嘱託員・臨時職員のサービスレベルの維持について  
5年と言う嘱託員の雇用期間は、サービスレベルの維持という点で再検討すべきではないか
- (5) 職員の交流の推進について  
①年度目標値を設定すべきではないか  
②平成17年度に交流先の検討・働きかけが計画されていたが、結果は

## 2 義務教育の教員の現状を把握し適切な対策を講じるべきではないか

- (1) 教員は時間外勤務について、一般職員とは扱いが違うことは承知しているが、実質的にどれくらい勤務しているか把握しているか
- (2) 教員の忙しさの実態を調査・分析すべきではないか
- (3) 教員でなくてはできないものとそうでないものを明確にし、役割を分担し、教員が子ども達に向き合える時間を増やす工夫をすべきではないか
- (4) 事務職員の臨時職員への転換が進み、今後は用務員もその方向にあるようだが、それが影響していること、影響が出そうなことは無いか
- (5) 学習サポーターはどのような成果を上げているか。さらに充実させることを考えるべきではないか
- (6) 教員の新規採用について、新卒者とそうでない者の比率はどうなっているか

## 1 環境対策について

- (1) ISO 14001 について

			<ul style="list-style-type: none"> <li>①現在の取組み状況を伺う</li> <li>②認証取得時から運用、マネジメント、認証の更新にかかる費用はいかがか伺う</li> <li>③確実な根拠に基づいて算定された ISO 14001 による費用節減効果はいかがか伺う</li> <li>④目標基準の限界に達している項目もあると考えるがいかがか伺う</li> <li>⑤ISO 14001 を運用するために、担当職員の労力と事務効率について、一般事務に影響が出てくると考えるがいかがか伺う</li> <li>⑥見直す時期ではないのか伺う</li> <li>(2) 環境マネジメントについて <ul style="list-style-type: none"> <li>①羽村市は環境自治体会議に会員参加しているか伺う</li> <li>②自治体政策の規格である、環境自治体スタンダード、LAS-E (Local Authority's Standard Environment) についてどのように捉えているか伺う</li> <li>③ISO14001 から LAS-E に移行する考えはいかがか伺う</li> </ul> </li> <li>(3) 環境基本計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>①新しい羽村市環境基本計画の策定は考えているか</li> <li>②新しい羽村市環境基本計画に持続可能性の枠組みを明確に示すべきと考えるがいかがか伺う</li> <li>③環境政策の観点だけでなく、持続可能性の原則に基づく、総合的な地域計画とすることが重要と考えるがいかがか</li> <li>④新しい環境基本計画は、地域ビジョンとなることにより協働理念や羽村市長期総合計画の理念、自立と連携に合致すると考えるがいかがか伺う</li> </ul> </li> </ul>
5 人目	17 番	川 崎 明 夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育での部活動の位置づけについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市の教育委員会としては、部活動の教育的意義や効果をどう考えるか</li> <li>(2) 最近いくつかの部で顧問の先生がいない為に廃部になると聞く、運動部・文化部において市内 3 校の現状は <ul style="list-style-type: none"> <li>①主な部の活動人数と非活動の人数の割合は</li> <li>②外部指導者の状況は</li> </ul> </li> <li>(3) 学習指導要領の審議経過の報告書を見ると、「部活動」を指導要領に位置づける方向で検討するとなっているが、市の考えは</li> <li>(4) 市内で地域のボランティア指導者のもとで盛んな、小学生を対象にした、サッカーチーム・野球チームがあるが、「学校のクラブ」と「地域のクラブ」の境界が曖昧だと言われている。現状での先生のかかわり方と今後について</li> </ul> </li> </ul>
6 人目	12 番	菱 田 ・ 樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 羽村市の財政状況の推移について <ul style="list-style-type: none"> <li>財政指標 4 項目について、その推移を分析し、問題点と今後の見通しについて伺う <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 財政力指数 (過去 3 年間平均)</li> <li>(2) 経常収支比率 (%)</li> <li>(3) 公債費比率 (%)</li> <li>(4) 人件費比率 (%)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

7人目

13番

市川英子

2 家庭の水道使用量の減少の影響について

首都圏の水道使用量の減少の傾向から、自治体の受水量の負担が重くのしかかる傾向がある

- (1) 節水家電の普及による影響はあるか
- (2) 飲み水のペットボトル化による影響はどの程度か
- (3) 羽村市の受水量の負担の変化はどうか

8人目

19番

高橋美枝子

1 羽村駅西口区画整理事業は今後裁判で争われることになった。従って事業の白紙または凍結をすべきではないか

- (1) 市長は議会答弁で「反対の皆さんにご理解を頂くよう努める」との考えを示しているが反対をしている人に理解が進んでいると市長は考えているか。並木市長になって理解が得られるよう特別に努力をしたことは何か
- (2) 関係市民が裁判までしなければならないことを市長はどのように受け止めているか
- (3) 裁判が今後始まることになる。従って、一方的に進めるのは止め、白紙または凍結をすべきである
- (4) 市は区画整理でのまちづくりは止め、市民が望んでいるまちづくりは何かをともに考えるべきである。市の考えを反対している人に押しつけるべきではない

2 公園と保存樹林地・街路樹の手入れと緑被率調査等について

- (1) 枝が伸びすぎて見通しが悪く、薄暗いといった公園や樹林地がある。点検を行い樹木の手入れをすべき
- (2) 羽加美緑地公園内の池の水は現在入っていないが今後入れる予定は
- (3) 緑被率調査はどのように行う予定か
- (4) 多様性のある公園へのリニューアルとして19年度に川崎公園が予定されている。若者が利用できるスケートボード場の設置も考えて頂きたい
- (5) 羽西 3-7 の保存樹林地で今後手入れの方法など考えていることはあるか。また、樹林地の中にある狭い道路の拡幅について考えて頂きたい
- (6) 商業実態調査の自由意見の中に「看板が葉でおおわれている。木の葉を切ってほしい」とある。すぐ対応すべき。また、同じようなところがないか点検を

3 市内循環バス「はむらん」について

- (1) 玉川地区にも運行すべきでは
- (2) バス停にベンチの設置をとの声が寄せられている。検討すべきでは
- (3) 運行時間の延長をすべきでは
- (4) 高齢者は無料にすべき
- (5) 目的地へ行くのに時間がかかりすぎて利用しないという意見がある。バスの台数を増やし、一方周りだけではなく、反対方向の運行も考えるべき

1 教育費の保護者負担を軽くする施策を

- (1) 就学援助制度の改善を
  - ① 就学援助における準要保護者の認定基準の引き上げを
  - ② 就学援助費の支給内容の引き上げを

9 人目	2 番	石 居 尚 郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>③「就学援助制度のお知らせ」などの改善を</li> <li>(2) 高校入学時奨学金の拡充を <ul style="list-style-type: none"> <li>①高校入学時奨学金の大幅値上げを</li> <li>②高校入学時奨学金を受けやすいように改善を</li> <li>③東京都育英資金・高校奨学金の予約募集を行っているが、応募しやすいように、生徒にお知らせを</li> </ul> </li> <li>(3) 修学旅行補助金の増額を <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校の修学旅行の補助金を、33,000 円に戻すべき</li> <li>②小学校の修学旅行の補助金の増額を</li> </ul> </li> </ul> <p>2 基本健康診査の充実を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本健康診査の実施期間を延長し、受診率を向上させるべき</li> <li>(2) 対象者全員に基本健康診査のお知らせはがきの送付を</li> </ul> <p>3 障害者がいきいき暮らせるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 熱意を持って地域生活支援事業の推進を</li> </ul>
10 人目	1 番	馳 平 耕 三	<p>1 自転車の安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 特に高齢者の事故が増えている。安全指導が必要と考えるがいかがか</li> <li>(2) 学校教育における取り組みの強化を望む</li> <li>(3) 自転車の免許制度を検討する考えはないか</li> <li>(4) 依然として駅前を中心に放置自転車が後をたたない。対策を急げ</li> <li>(5) 駐輪場にオートバイ置き場がある。騒音対策はどう取り組んでいるか</li> <li>(6) 2つの駅を有する羽村市が中心となり、打開への取り組みを示せ</li> </ul> <p>2 幼児教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 羽村市は、幼児教育をどのように捉え、どういった方針を持っているか</li> <li>(2) 幼稚園や保育園と小学校との相互理解を深めるためどのような連携を図っているか</li> <li>(3) 保育園関係者、幼稚園関係者、市の担当部局、教育委員会等により、対話の場を早急に設けるべきと思うが、市の考えを聞く</li> </ul> <p>1 教育基本法の改正で羽村市の教育はどのように変わるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長・教育長は、現行の教育基本法をどう考えているか。また、教育基本法を改正する必要があると考えているか</li> <li>(2) 教育基本法改正の論議は、まだ市民の間に深まってないように思えるが、市民や教師から、どのような意見が寄せられているか</li> <li>(3) 改正しなければならない教育施策があるとすれば、それは何だと考えているか</li> <li>(4) 小泉首相は、愛国心教育について、児童生徒の評価項目としない考えを示しているが、教育基本法が改正された場合、羽村市もそのような立場をとるか</li> <li>(5) 宗教教育について、政教分離の観点から、羽村市は、公立の小中学校で、宗教教育を行うということに対してどう考えているか</li> </ul>

11 人目	9 番	露 木 諒 一	<p>(6) 教育の地方分権化に対して、羽村市はどのような考えを持っているか</p> <p>2 犯罪被害者支援条例の制定を急げ</p> <p>(1) この5年間で、市内の犯罪発生件数と検挙率はどのように推移してきたか</p> <p>(2) 市民生活安全パトロール等、羽村市もさまざまな施策を講じているにもかかわらず、犯罪が減らない現状をどう分析しているか</p> <p>(3) 今後、羽村市は、犯罪を減らす新たな方策を考えているか</p> <p>(4) 犯罪被害者に対して、これまでどのような支援を行ってきたか</p> <p>(5) 犯罪被害者支援条例の制定と相談窓口を設置することは意義あることだと考えるが、市はどのように考えているか</p>
12 人目	6 番	中 根 康 雄	<p>1 震災対策について</p> <p>(1) 耐震診断から耐震改修までの取り組みについて</p> <p>(2) 安価にできる耐震改修の周知について</p> <p>(3) 震災時の企業と地域の支援体制について</p> <p>(4) 上水道の断水の対策について</p> <p>(5) 改正耐震促進法に基づいた耐震化の目標や相談体制等の整備状況について</p> <p>2 動物公園通りの道路改良計画について</p> <p>(1) 道路改良事業計画について</p> <p>(2) 住民説明会について</p> <p>(3) 完成後の道路の自動車規制について</p> <p>(4) 歩道の植樹について</p> <p>1 学力低下・教育格差対策について</p> <p>(1) 羽村市が2学期制を導入して、その成果と反省点は如何に</p> <p>(2) 学力低下の原因は何に起因すると考えるか</p> <p>(3) 羽村市における小中学校の不登校の実態とその対策をどう講じているか</p> <p>(4) すぐ「キレる子」が増えている原因は何だと考えるか</p> <p>(5) 指導力不足の教員に対しどのような対策を講じているか</p> <p>(6) 小中一貫教育の是非と教育特区について検討したことがあるか</p> <p>(7) 今求められている授業とは何だと考えるか</p> <p>2 児童・生徒の安全管理について再び問う</p> <p>(1) 防犯ブザー配付後、その取り扱いと管理、地域への周知は万全か</p> <p>(2) 地域との連携の確立と、保護者・協力者への連絡体制は整えられているか。また機能はしているか</p> <p>(3) 学校管理下における事故に対して、救護とその後のケアは大丈夫か</p>
13 人目	11 番	門 間 淑 子	1 羽村駅西口区画整理事業について

14 人目

20 番

中 原 雅 之

- (1) 監査委員は住民監査請求に対し「請求対象の特定に欠く」として不適法としたが、最高裁は適法と判断した。判決文から監査委員の法令解釈に誤りがあったと判断できるが、市長の見解はどうか
  - (2) 判決文から、監査委員は容易に把握することができる支出行為の特定を怠ったと判断できるが、市長の見解はどうか
  - (3) 監査委員の法令解釈の誤りは、監査事務の信頼性を損なったと考えるが市長はどのように判断しているか
  - (4) 外部監査の導入など、監査事務の見直しが必要ではないか
  - (5) 355 億円の西口区画整理事業予算が、今後も続く世界的な原油高騰や金利値上げの影響を受けて、さらに増額することはないか
  - (6) 西口区画整理事業は反対意見も多く、法的にも予算上も不確定要素が大きい。規模・手法・予算について、改めて精査すべきではないか
- 2 指定管理者制度の評価について
- (1) 農産物直売所、弓道場の指定管理者から事業報告は出されたか
  - (2) 指定管理者の事業評価は、毎年度実施するのか
  - (3) 指定管理者の事業評価はどのようになされるのか。その評価結果は、どのように公開されるのか

15 人目

7 番

佐 藤 征 一

- 1 市ホームページの充実を
- (1) テレビはむらの映像をインターネットで配信を
  - (2) インターネットで不要品交換の登録をしたり、市長の公務日誌を公開する、音声案内やBGMなど、コンテンツの充実をしてはどうか
- 2 多摩川・羽村堰・草花丘陵を市民のいこいの場として充実を
- (1) 多摩川の環境保全と行楽客のモラル向上のためのパトロールをいっそう充実させるべきではないか。また、長期総合計画に「パトロール員が、多摩川の河川環境や動植物についてのガイドを兼ねる『多摩川シルバーガイド』へと発展させます」とあるが、この計画の見通しはどうか
  - (2) 「羽村堰近くのトイレが汚い、行楽客の多い休日に重点的に清掃すべきでは」との声が出されている。トイレの清掃の改善、右岸にトイレの設置、案内看板の充実など都に要望してはどうか
- 3 税制改正に伴う高齢者の負担増などの緩和を
- (1) 国の税制改正に伴い、福祉サービスを受けてきた高齢者に負担増などの影響を受ける高齢者はどれくらいいると考えられるか
  - (2) 税制改正に伴う影響を緩和する考えはないか
- 1 小中学校への自動体外式除細動器（AED）配備の現況と今後の計画について
- (1) 市内小中学校への AED 配備の状況について
  - (2) 市内小中学校への AED 配備と講習会等の計画について

